

笑顔あふれる あたたかい学校に

新たなスタートを応援するかのよう、暖かい春の陽差しが学校を包んでくれています。校庭の桜も時を待ちかねたように、満開の花を咲かせています。

休み時間にグラウンドを歩いていると、女の子達が走り寄ってきて、「校長先生、はちがいるよ」と連れられて行ってみました。すると、桜の花を数匹の小さなみつばちが飛び交っていました。「きっと、はちも桜の花を喜んでいるんだよ」「きっとみつを集めているんだよ」と会話が進み、「校長先生、この花知っている？」持っている花を差し出し、「ヒメオドリコソウと言うの」「ピンク色のおもしろ花だね」「甘いみつが入っていて、はちもたくさん来るんだよ」「ほら、いるでしょ」自然に触れ、新たな発見、新たな知識を重ねていく子ども達。春は命が躍動するとともに、子ども達の好奇心をくすぐる出会いがたくさん広がっています。そんな子ども達の学びへの手掛かり、意欲を大切にしながら、豊かな学校生活につなげていきたいと考えています。

4月8日、入学式で55名の一年生を迎え、全校児童355名、教職員29名で新年度がスタートしました。令和4年度、「豊かな心を育み 自ら学び たくましく生きる子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、笑顔あふれる子どもを真ん中におきながら、学校をスタートさせていきます。これからの学校での学びが、子どもたちの夢の輝きに、命の輝きにつながるよう、保護者の皆様と力を合わせ、地域の方々からのお力添えを賜りながら、教職員一同精一杯頑張っています。

今後ともご支援とご協力をお願いいたします。

令和 4年 4月20日 山形市立蔵王第一小学校
校長 齋藤正弘



蔵王一小 グラウンドの桜（4／13）